

# Real elliptic operator の解析的指数と Real Lie group の誘導表現

京大 理 河野 明

阪市大 理 橋本 伸

## §1 序文

$G$  を compact Real Lie group であり, compact Lie group  $G$  で  $\tau^2 = 1_G$  を満たす Lie group の同型  $\tau: G \rightarrow G$  を持つ物とする。  $\tau$  による,  $G$  と  $\mathbb{Z}/2$  の半直積を  $\tilde{G}$  と書き  $\tilde{G}$  の元を  $(g, \varepsilon)$ ,  $g \in G$ ,  $\varepsilon = \pm 1$  で表わす。 Real  $G$  space とは  $\tilde{G}$  space  $X$  のこととする。

定義 1.1.  $M$  が Real  $G$ -module とは

- 1)  $M$  は  $\mathbb{C}$  上の有限次元 vector space.
- 2)  $M$  に  $G$  が連続かつ  $\mathbb{C}$ -線型に作用する。
- 3) conjugate linear involution  $\bar{\tau}: M \rightarrow M$  があって,  
 $\bar{\tau}(g \cdot m) = \tau(g) \bar{\tau}(m)$   $g \in G, m \in M$  を満たす。

上の定義で, 1)を

1)'  $M$  は  $\mathbb{C}$  上の locally convex complete Hausdorff な linear topological space である。

に変えた物を "広い意味の Real  $G$ -module" と言う。

Real  $G$  module が irreducible e.t.c は complex  $G$ -module と同様に定義される。irreducible Real  $G$ -module で生成される自由アーベル群を  $R_R(G)$  と書く。Real structure を forget して

$$\phi: R_R(G) \rightarrow R(G)$$

が定義されるが,  $\phi$  は単射であることがわかっていて [1]。

$G$  の closed subgroup  $H$  は  $\tau(H) \subset H$  ( $\Leftrightarrow \tau(H) = H$ ) の時 Real subgroup と呼ばれる。さて,  $H$  を Real subgroup とし

$i_1: R(H) \rightarrow R(G)$  を Bott [3], Segal [6] の誘導表現とする。

この時 橋本 [4] は

$$\begin{array}{ccc} R_R(H) & \xrightarrow{i_1} & R_R(G) \\ \phi \downarrow & & \downarrow \phi \\ R(H) & \xrightarrow{i_1} & R(G) \end{array}$$

を可換にする, 準同型  $i_1: R_R(H) \rightarrow R_R(G)$  を定義した。しかし [4] の定義は, transfer [5] を用いており, 直接幾何学的意味をとらえにくい面がある。このノートは, この  $i_1: R_R(H) \rightarrow R_R(G)$  が実際に, ある Real elliptic operator の解析的指数で表現出来ることを示すことにある。注意すべきは,  $\phi$  が常に単射であるから, 上の図式を可換にする  $i_1: R_R(H) \rightarrow R_R(G)$  が存在すれば, それは一意になることである。よって, 上を可換にする  $i_1$  は, すべて [4] の定義と一致する。

## §2 Real $G$ manifold の tangent space と tangent bundle.

$M$  を smooth manifold とする時  $T(M)$  ( $T^*(M)$ ) で  $M$  の tangent (cotangent) bundle を  $T_x(M)$  ( $T_x^*(M)$ ) で  $x \in M$  における tangent (cotangent) space を表わす。Real  $G$  manifold とは smooth な  $\tilde{G}$  manifold のこととする。今 Real  $G$  manifold  $M$  に対して,  $T(M)$  に (又は同様に  $T^*(M)$  に)  $\tilde{G}$  が作用するか, この作用は我々の場合には少し都合が悪い。  $f: \mathbb{R} \rightarrow M$  を smooth map とする。

$$((g, \varepsilon)f)(t) = (g, \varepsilon)(f(\varepsilon t))$$

とおくと  $((g, \varepsilon)f): \mathbb{R} \rightarrow M$  smooth map となる。この作用は自然に tangent bundle の smooth  $\tilde{G}$  作用になるが, この作用を持つ Real  $G$  manifold を  $TR(M)$  と書く。

(cotangent についても同様にして  $TR^*(M)$  を定義する。)

$x \in M$  とし,  $(e, \varepsilon)x = x$   $\varepsilon = \pm 1$  とする。この時

補題 2.1.  $H_x = \{g \in \tilde{G}; (g, 1)x = x\}$  は Real subgroup

証明.  $(\tau(g), 1) = (e, -1)(g, 1)(e, -1)$  より明らか。

$T_x(M)$  には  $\tilde{H}_x$  が作用するか, 上と同様に作用をとりかえ  $\mathfrak{h}$  space を  $TR_x(M)$  と書く。 ( $TR_x^*(M)$ ) も同様。

$(x, 0) \in TR(M)$  をとると  $(e, \varepsilon)(x, 0) = (x, 0)$   $H(x, 0) = H_x$  が成立する。

今  $TR_{(\alpha,0)}(TR(M))$  を考えると, 実数体上の vector space として,

$$TR_{(\alpha,0)}(TR(M)) \cong T_x(M) \otimes T_x(M)$$

ここで 前の直和因子は  $M$  方向の, 後の直和因子は  $T_x(M)$  方向の tangent vector を表わす。  $TR_{(\alpha,0)}(TR(M))$  の  $\hat{H}_x$  作用は,

$$(g, \varepsilon)(u, v) = ((-1)^\varepsilon (g, \varepsilon)u, (g, \varepsilon)v)$$

と上の直和分解を使って書ける  $g \in H_x, \varepsilon = \pm 1$  として,

$g(u, v) = (g, 1)(u, v)$  によって  $TR_{(\alpha,0)}(TR(M))$  を (実数体上の)  $H_x$  vector space と考える。この複素構造を  $i(u, v) = (-v, u)$

で定義し  $\bar{i}(u, v) = (e, -1)(u, v)$  とおく。

$$\bar{i} \circ i(u, v) = \bar{i}(-v, u) = (v, u)$$

$$i \circ \bar{i}(u, v) = i(-u, v) = (-v, -u) = -\bar{i} \circ i(v)$$

$$\begin{aligned} \bar{i}(g(u, v)) &= (e, -1)(g, 1)(u, v) = (e, -1)(g, 1)(e, -1)(e, -1)(u, v) \\ &= (\tau(g), 1)\bar{i}(u, v) = \tau(g)\bar{i}(u, v) \end{aligned}$$

従って次を得る。

定理 2.2.  $M$  を Real  $G$  manifold  $x \in M$  が  $(e, -1)x = x$  を満たすとする。この時

$$TR_{(\alpha,0)}(TR(M))$$

は Real  $H_x$ -module になる。さらに complex  $H_x$ -module として

$$TR_{(\alpha,0)}(TR(M)) \cong T_x(M) \otimes \mathbb{C}$$

(後半は作り方より) 明らか。  $TR_{(\alpha,0)}^*(TR(M)) \cong T_x^*(M) \otimes \mathbb{C}$  も同様)

## §3 誘導表現の定義

$G$  を compact Real Lie group  $H$  を Real subgroup とすると,  $G/H$  は自然に Real  $G$  manifold になる。明らかに  $(e, -1)[H] = [H]$  であるから,  $TR = TR_{([H], 0)}^*$  ( $TR(G/H)$ ) が定義され, Real  $H$ -module になる。

$M$  を Real  $H$ -module とする時

$$G \times M \rightarrow G/H$$

で定義される Real  $G$  vector bundle を  $E_M$  と書く。また  $\Gamma(\quad)$  でその smooth section 全体を表わす。任意の Real  $G$  vector bundle に対して,  $\Gamma(\xi)$  は自然に (適当な topology で) 広の意味の Real  $G$  module になる。

$G$  同変 Real connection

$$\nabla: \Gamma(E_M) \rightarrow \Gamma(E_M \otimes TR)$$

を選ぶと  $\nabla$  は自然に  $G$  同変 Real operator

$$D: \Gamma(E_M \otimes \mathbb{R}^n TR) \rightarrow \Gamma(E_M \otimes \mathbb{R}^n TR)$$

に拡張される。(くわしくは Atiyah-Singer [2] を見よ)。

この  $D$  の作る symbol の列は共変微分の定義からただちにわかるように zero section 以外では exact である。しか

し  $D^2 \neq 0$  の可能性があるため, 各 bundle に  $G$  不変

かつ  $(\overline{\langle \xi(x), \xi(y) \rangle}) = \langle x, y \rangle$  をみたす内積を定義し (この存在

は  $G$  不変内積  $\langle, \rangle$  に対して  $\langle x, y \rangle = \frac{1}{2}(\langle x, y \rangle + \overline{\langle \xi(x), \xi(y) \rangle})$

とおけばよい); これに関する adjoint を  $D^*$  とし

$$D+D^* \begin{array}{c} \text{even} \\ \Downarrow \\ \text{odd} \end{array} \mathbb{P}(E_M \otimes \mathbb{P}TR) \rightarrow \begin{array}{c} \text{odd} \\ \Downarrow \\ \text{even} \end{array} \mathbb{P}(E_M \otimes \mathbb{P}TR)$$

を考えると, これは  $G$  同変 Real elliptic operator となる。

定義 3.1.  $i_1(M) = a\text{-ind}(D+D^*) = \text{Ker}(D+D^*) - \text{Coker}(D+D^*)$

この Real structure を forget すると, Segal の定義から

定理 3.2.

$$\begin{array}{ccc} R_R(H) & \xrightarrow{i_1} & R_R(G) \\ \downarrow \phi & & \downarrow \phi \\ R(H) & \xrightarrow{i_1} & R(G) \end{array}$$

は可換である。

よくに

系 3.3. 上の定義は 橋本 [4] の  $i_1$  と一致する。

## 参考文献

- [1] M. F. Atiyah-G. B. Segal; Equivariant  $K$ -theory and completion, *J. Diff. Geom.* 3(1968) 1-18.
- [2] M. F. Atiyah-I. M. Singer; The index of elliptic operators V, *Ann. Math.*
- [3] R. Bott; The index theorem for homogeneous differential operators, *Diff. and comb. topology* 167-186.
- [4] S. Hashimoto; The transfer map in the  $KR_G$ -theory (to appear in *Osaka J. Math.*) (本講究録)
- [5] G. Nishida; The transfer homomorphism in equivariant generalized cohomology, *J. Math. Kyoto Univ.* 18(1978), 435-451.
- [6] G. B. Segal; The representation ring of compact Lie group, *Publ. I.H.E.S.* 34(1968), 113-128.